

くしろ



ホームページ
QRコード



開始～終了	時間	作業内容	軌跡	集計用時間
06:43～07:05	21分	▲ 移動	軌跡	21分
07:05～07:15	10分	◆ エリア：牧草地 F-1317	軌跡	10分
07:15～07:33	17分	🔌 電源OFF		17分
07:33～07:49	16分	◆ エリア：牧草地 F-1317	軌跡	16分
07:49～11:10	3時間20分	◆ エリア：牧草地 F-1321	軌跡	3時間20分
11:10～11:15	5分	▲ 移動	軌跡	5分



- ★写真
- ①：ほ場管理システムの活用（収穫作業をスマホで確認）
 - ②：作業記録の表示
 - ③：自走式フォレージハーベスタ
 - ④：システム上に記録

＜スマート農業技術活用＞ほ場管理システムで作業を記録、効率化

白糠町茶路地域のTMRセンターでは、農業機械に取り付けたGPS端末の位置情報をもとに、ほ場作業を自動で記録・共有する「ほ場管理システム」を活用しています。

PC、スマートフォンの画面上に作業状況がリアルタイムで反映されるほか、作業内容や作業時間といった種々のデータが自動的に記録されます。通話による進捗確認の手間が省ける、手作業で行っていた牧草運搬台数の集計が自動化されるなど、効率化・省力化に役立てられています。

	所在地	電話・FAX	Eメールアドレス
釧路農業改良普及センター本所	〒088-2313 川上郡標茶町常盤8丁目5番地	Tel:015-485-2514 Fax:015-485-2249	kusirokita-nokai.11@pref.hokkaido.lg.jp
釧路東部支所	〒088-1365 厚岸郡浜中町茶内橋北東31番地	Tel:0153-65-2021 Fax:0153-65-2037	kushiroto-nokai.11@pref.hokkaido.lg.jp
釧路中西部支所	〒084-0917 釧路市大楽毛127番地	Tel:0154-57-8306 Fax:0154-57-4702	kushirochu-nokai.11@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページアドレス：<https://www.kushiro.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/>

釧路中西部支所では白糠町茶路地域で、乳牛管理と草地管理の両輪で重点活動に取り組んでいます。このうち草地管理では草地植生改善のために2つの事項を進めています。

1つは「草地更新・維持段階で、除草剤を利用する」です。更新時の除草剤処理方法は、非選択性の除草剤を雑草の生育盛期に防除する「雑草茎葉散布」や耕起整地後に種子から発生する雑草を対象とした「は種床処理」の2つがあります。そこで更新時期や除草剤処理方法に応じた工程表を作り、除草剤利用を

支援しています。また、維持段階のギシギシ防除には、更新後の早い段階で選択性除草剤散布と併せ、散布後に裸地化した部分の牧草追播も提案しています。

2つ目は「適期適量施肥」です。早春施肥時期は萌芽期前後を推進し、定着しつつあります。施肥量は土壌分析結果や堆肥等の散布量を加味した施肥設計書を示し、過不足のないよう支援しています。



除草剤を散布



リーフレットを使って適期施肥を推進

5月31日、釧路北部地区指導農業士・農業士会(事務局：普及センター本所地域係)の春期研修会が開催されました。令和3年に新棟が稼働した雪印メグミルク(株)の磯分内工場で製造ラインを見学した後、製造品目や酪農情勢について説明を受けました。

磯分内工場では、年間受入量18万tの生乳の75%を地元(標茶町・弟子屈町)、残りをオホーツク管内から受け入れています。バター・生クリーム・粉乳・脱脂濃縮乳が製造

されていますが、家庭用バターと業務用生クリームが製造の主力です。参加した会員からは、各ラインの検査で異常が出た際の対応や省力化の設備、官能検査の資格取得等について質問が出され、地元乳業工場の運営に理解を深めました。

普及センターは、管内農業の担い手育成に関わる指導農業士・農業士会の活動を今後も支援していきます。



工場見学の様子



工場長・課長より説明を受ける

活動の紹介 ほ育牛群管理の課題整理

令和4年度、調査研究「ほ育牛群管理の課題整理」チームでは、牛舎の環境調査を行い換気改善を目的に活動しました。

牛舎の換気改善に関する知識習得に向けて、「試験場研究員による温湿度と二酸化炭素濃度を用いた換気評価手法の研修会」や「十勝管内の優良事例調査」などを実施しました。

研修で得た知識を活かし、子牛の肺炎が多発していた釧路管内3戸の農場で、実際に牛舎の換気状況を調査してみました。調査した

測定値は、農業者およびチーム内で共有し、改善点について意見交換を行いました。

その結果、既に窓や扉の開放による換気改善に取り組んでおり、調査結果が良好だった農場からは「効果を数値で実感できた」との声がありました。換気不足が疑われた農場からは「換気を改善するために、窓を開けてみる」という声が聞かれました。

牛舎の換気でお困りの方は、普及センターまでお問い合わせください。



環境調査している様子



十勝管内の優良事例調査の様子

活動の紹介 肉牛飼養管理技術向上に向けた活動

普及センターでは「肉牛の飼養管理技術の向上」を課題に調査研究を行っています。

令和4年度は、「和牛初生市場の現状把握」、「肥育素牛の飼養管理実態調査」および「先進地事例調査」に取り組みました。

「和牛初生市場の現状把握」は、令和3年度から継続して取り組み、より詳細に分析を行い年度集計等を行いました。(図1、表1)。

「肥育素牛の飼養管理実態調査」では、複合・専業農家問わず、飼養頭数50頭以下の

割合が多く、飼養頭数・環境にあった支援が求められていることがわかりました。

「先進地事例調査」では、鹿児島全国和牛能力共進会や優良農家の視察を行いました。

令和5年度は課題解決研修として活動を継続し、これまでの活動で得たデータを基に繁殖牛の管理・分娩時の対応に関する資料を作成しています。調査結果の情報等が必要な方は普及センターまでお問い合わせください。

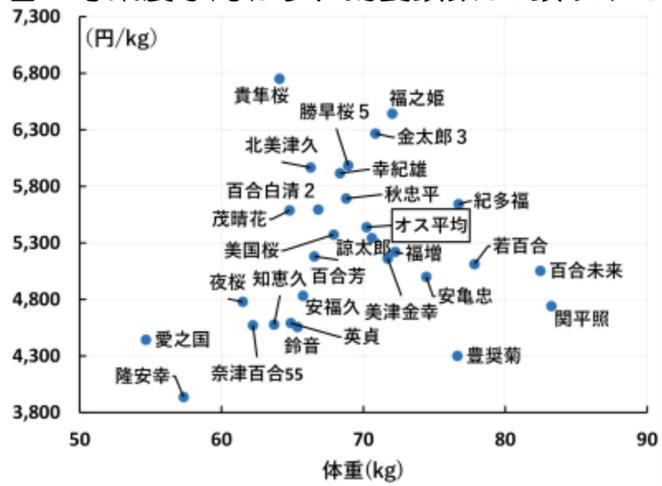


図1 令和4年度種雄牛別初生牛体重当たり価格

表1 令和4年度和牛初生市場主要データ一覧

性別	頭数 (頭)	体重 (kg)	日令 (日)	D G (kg)	日齢単価 (円)	1kg当たり価格 (円)	成立価格 (税抜) (円)
オス	1,187	70.2	49.5	1.52	8,516	5,438	377,888
メス	659	67.5	50.2	1.44	6,402	4,309	285,781
平均	1,846	68.8	49.9	1.48	7,459	4,873	331,835

参考となる事例紹介 キャスター付きの草架台で手間を軽減（厚岸町）

トラクタが入れない所に牧草を運ぶ際、一輪車を利用したり、手作業で給餌している方が多いのではないのでしょうか。今回紹介するF牧場では以前まで育成舎への牧草運搬を手作業で行っていました。そこで、草架台の図面と模型を自作し、鉄工所に依頼して製作したオリジナルの草架台を紹介します。

草架台のこだわりポイント

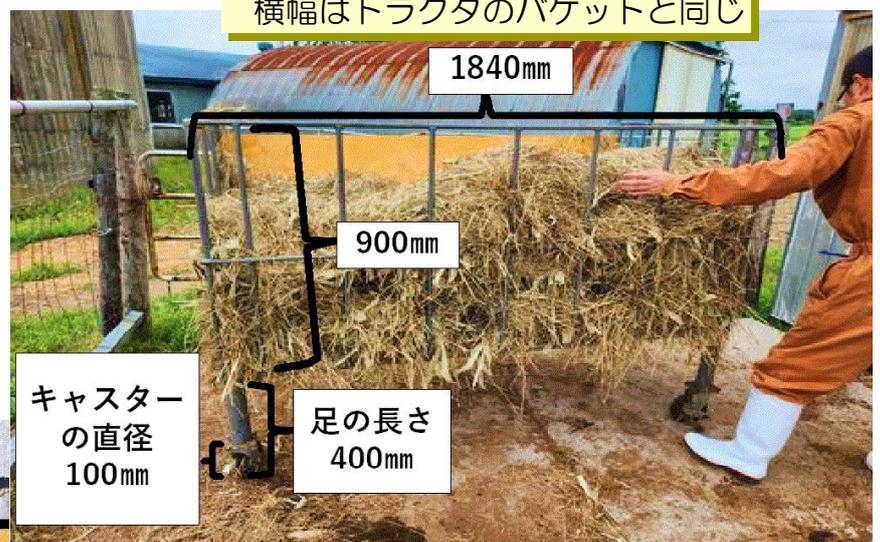
移動できる



柵の寸法

草架台の足下にキャスターを取り付けることで人力で動かす事が可能（舎内から外に移動出来るため、バケットから直接牧草を補充できる）。

横幅はトラクタのバケットと同じ



全体の寸法

最後まで採食できる



側面の寸法

草架台内にコンパネを取り付け、傾斜を作ることで牛が採食しやすい。

使用した感想

- トラクタがあれば一人でも作業できるので便利。
- 人力の作業が減ったのでとても楽になった。